

⑱ 福井大地震

昭和二十三年六月二十八日。あの日は、むしっとした

てきない日で、私は清水町の山の頂上で仕事をしての。

三時の一服の時、ひよいと西の空をみると、

黄色い雲の帯の上に紫の雲の帯が真横に出ていたんや。

その二時間あとの夕方五時に、あの大地震や。

直径一メートルもある木が、箸を指先でゆらすようにゆれだした。

西袋の山の上から木の葉が白う裏がえって波のように下つてから、

私のいる山頂にのぼってきて東の上河内の山へ行つたんや。空気も振動したんやろ、空をとんで

たハトやカラスやトンビが地面におちてきたほどだった。

どうにかこうにか山をおりると、大川は茶色くにごって、四・五十センチも水かさかふえていた。長生きしたけど、あんな経験はあとにも先にもないねえ……。

